

石巻国際まつり 報告書 2011



石巻から世界へ、世界から石巻へ



2011年10月11日 石巻市aitピア商店街
かめ七呉服店、ホシノボックスピア

共催： 動く→動かす、Ishinomaki 2.0、日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-Net)、
オックスファム・ジャパン、(社)ピースボート災害ボランティアセンター
後援： 石巻市

1. 開催概要

名 称	石巻国際まつり	
期 間	10月9日：海外ゲストが被災地域（門脇地区など）訪問。 10月10日：河北地域・三反走仮設住宅にて交流イベント。 10月11日：石巻国際まつり（石巻アイトピア商店街 かめ七呉服店、ホシノボックスピア）	
共催・後援	共催：動く→動かす、Ishinomaki 2.0、日本イラク医療支援ネットワーク、オックスファム・ジャパン、ピースボート災害ボランティアセンター 後援：石巻市	
参加人数	三反走仮設住宅イベント	40名
	石巻国際まつり	120名
	ボランティア	25名

2. 石巻を訪れた3人のゲストたち



ニャーナセルバム・バサントカラさん（スリランカ）

Ms. Gnanaselvam Vasanthakala (from Sri Lanka)

スリランカ東部バットикаロア県在住。2004年のインド洋大津波に被災。その後、地域の再生に取り組み、2007年に激化した内戦も乗り越えてコミュニティの復興に尽力する32歳の女性リーダー。草の根から地域の開発に取り組む「ティルペルンドウライ開発協会」(TCDO)所属。



イブラーヒーム・ムハンマドさん（イラク）

Mr. Ibraheem Muhammad (from Iraq)

イラク南部の大都市バスラで、「日本イラク医療支援ネットワーク」(JIM-NET)が行っている、子どもたち対象の保健医療活動に取り組み、また、地域の再建に向けた様々な活動を展開している。



ローズ・タマエさん（南アフリカ共和国）

Ms. Rose Thamae (from the Republic of South Africa)

南アフリカ共和国ヨハネスブルク郊外の黒人居住区「オレンジ・ファーム」でHIV陽性者の自助グループ「レット・アス・グロウ」を結成。自身も陽性者としてエイズの問題に取り組みながら、戸別訪問ケアや仕事づくり、若いリーダーの養成などを手掛け、地域の「ママ」として活躍。地元では親愛をこめて「ママ・ローズ」と呼ばれている。現在58歳。

3. 国際まつりレポート



10月11日、宮城県石巻市の「アイトピア商店街」で、途上国で災害や貧困の中から立ち上がり、地域復興の先頭に立ってきた3人のリーダーが復興にむけた経験の交流と、被災した方々との絆を深めるためのイベント「石巻国際まつり」を開催しました。

来日したのは、インド洋大津波（2004年）に襲われたスリランカで、村の復興・再建に尽力したバサンタカラさん、南アフリカ共和国でHIV陽性者の自助グループを結成し地域の「ママ」として活躍しているタマエさん、イラク南部の大都市バスラで、子どもたち対象の保健医療活動や地域の再建に向けた様々な活動を展開しているイブラーヒームさんです（詳細は1ページ目参照）。3名は、10月1日から17日（国連「世界反貧困デー」）にかけて日本全国で開催される、世界の貧困問題の解決を求める意思表示のためのキャンペーン「スタンド・アップ テイク・アクション」に合わせて来日。9日から石巻市を訪れ、10日には仮設住宅を訪問してコミュニティづくりの経験を共有しました。

11日の「石巻国際まつり」は、石巻の代表的な商店街「アイトピア商店街」で、「Ishinomaki 2.0」を始めとする地域の皆様のご協力によって開催されました。呼びかけ団体の「動く→動かす」は、来日する途上国の元気な地域リーダーと一緒に、「世界に開かれた震災復興」を実現し、日本と海外で災害復興や貧困解消に取り組む人々の「国際的な絆」を強めていくきっかけになればと思い、このイベントを企画。地域で医療活動を行う「日本イラク医療支援ネットワーク」(JIM-Net)、復興のためのボランティア活動に取り組む(社)ピースポート災害ボランティアセンターも共催団体となりました。

メイン会場は「かめ七呉服店」。「国際まつり」は、日本コロムビア・レコード所属の演歌歌手、小野くみこさんと、歌謡教室の皆さんの民謡で開始。

メイン企画のトークライブには、東日本大震災以降、石巻で医療活動を行なっている「日本・イラク医療支援ネットワーク」(JIM-NET)の代表、鎌田寛さん（諏訪中央病院名誉院長）が特別講演をして下さいました。ママ・ローズさんの掛け声で、「明日でなく今、立ち上がり、行動しよう！」と参加者皆でスタンド・アップを行った後は、渡波獅子風流塾の皆さんに、地域に伝わる「獅子振り」を披露して頂きました。

道を隔てた「ホシノボックスピア」では、来日した3人のゲストの母国での活動の様子や、石巻で活躍する市民団体・ボランティア団体の普段の活動、震災時におけるスリランカや南アフリカの緊急援助隊の活動の様子などをパネル展示。また、エルサルバドル大使館から温かいコーヒーサービスが提供されました。

災害や貧困、紛争、感染症に取り組むスリランカ、南アフリカ、そしてイラクの地域リーダーと、震災からの復興に取り組む石巻の方々との出会い。それは、石巻で育まれた豊かな芸能、文化と、人々の気持ちのあたたかさにも包まれた、幸福な瞬間だったと思います。

「石巻国際まつり」の実現にご協力いただいた、石巻市民の皆様、共催団体の皆様、そしてゲストのバサンタカラさん、ママ・ローズさん、イブラーヒームさんに、この場を借りて、心からのお礼を申し上げます。



4. 来日ゲスト・地域の方々の声

- ◆ バラバラだと何もできない。一緒に力を合わせれば、私たちには、何かができる。(ローズ・タマエさん)
- ◆ スリランカでも、津波の後には、被害を受けたいろいろな地域の人たちが集まってきました。日本でもそうだと思いますが、私たちは、みんなが仲良くなるためのいろんなイベントをやって、信頼関係を築くことができました。大事なものは、絆を強めることだと思います。(バサンタカラさん)
- ◆ 仮設住宅で被災者の方の手を握った時に、イラクと日本は距離的には離れていても、私たちの心は一つだと感じました。(イブラーヒームさん)
- ◆ たくさん色々な人たちが来て楽しかった。地元の人も喜んでくれた。いい企画でした。(かめ七呉服店さん)
- ◆ 津波で子どももみんな元気を無くしたところだった。こういうふうに必要なの前で地元の力をお披露目できる事は非常にありがたい事です。違う国の人にも見ってもらえて子どもたちも楽しんでくれたようで、こちらもうれしいよ。また呼んでください。(渡波獅子風流塾さん)
- ◆ いろんな団体がいろんな企画で石巻に入ってくる中で、イベントの後が重要ですね。これからも石巻での継続的な支援を行ってください。(Ishinomaki 2.0さん)
- ◆ いろんな人が来て楽しい企画でした。もっともっとこういうのが石巻で行われて視野が広がるといいですね。(石巻復興支援ネットワーク・やっぺす石巻さん)

5. 会計報告(2011年10月31日現在)

収入の部

費目	金額	詳細
助成金1	¥1,512,826-	動く→動かす
助成金2	¥620,000-	オックスファム・ジャパン
集会会費収入	¥12,000-	東京集会(10月14日)の参加料収入)
合計	¥2,144,826-	

支出の部

費目	金額	詳細
航空運賃	¥329,353-	海外ゲスト航空運賃
旅費交通費	¥491,285-	ゲスト、スタッフ、ボランティア、通訳等国内旅費・交通費
宿泊費	¥76,720-	海外ゲスト等宿泊費
謝金	¥458,020-	通訳、出演者等謝礼
スタッフ人件費	¥400,000-	本企画スタッフ人件費(9~10月)
印刷費	¥139,113-	チラシ・ポスター・展示物等印刷・作成費
会議費	¥13,870-	会議・集会の会場賃貸料
機材費	¥10,000-	PA機材の貸出料
消耗品費	¥63,946-	文具、ガソリン代等
食費	¥152,459-	ゲストやボランティアの食費等
維持修繕費	¥3,000-	ゲスト衣服クリーニング代等
通信費	¥7,060-	ゲスト招聘に伴う書類送付等
合計	¥2,144,826-	

連絡先：動く→動かす (担当：稲場雅紀)

所在地：東京都台東区東上野1-20-6丸幸ビル2F (特活)アフリカ日本協議会 気付

電話：03-3834-6902, FAX: 03-3834-6903、電子メール：ishinomaki.kokusai.matsuri@gmail.com

ウェブサイト：動く→動かす <http://www.ugokuugokasu.jp>

(石巻国際まつりウェブ： <http://www.standup2015.jp/event/ishinomaki.html>)